

②9 F本に「受與易」と寫したり。上記②6参照。

③0 原本に「彼と國と」と書けり②8参照。

③1 「又」が「又」の誤なることF本にも記せり。

③2 原本に字畫を訂正したる爲に、F本の註附せる如く「虫」字かとも思はるれど、「宀」即ち肉なること疑無く、虫を以て食と爲す奇俗を述べたるには非ず。

③3 F本促に作るは誤なり。

③4 F本に「烏」と寫したれど従ふ可からず。烏と焉との古寫本に於て區別し難きは常に認めらるゝ例なるも、本書に於ては兩者の區別はば明らかにして、例へば132及び135の烏長國の烏に就いて見るも、この字には焉の初めの一畫を有せざることを認むべく、混同すべきに非るなり。

(京都大學史學科、紀元二千六百年記念史學論文集、昭和十六年四月)